

第5学年 社会科学学習指導案

1 単元名 暮らしを支える食料生産

2 教材観

食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の生産量は国民生活と関連して変化していることなどに気付き、日本の食料生産の役割について理解する。また、生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉えるとともに、食料生産が国民生活に果たす役割を考える。

3 指導観

本単元は、既習の単元である「国土の地形の特色」、「国土の気候の特色」で学習した平野や山脈、気候などの自然条件と深い関わりがあるため、児童が学習内容の関連性を実感できるようにする。また、地図を活用した学習活動を中心に、調べたことを地図上でまとめたり、産地の分布を考えたりすることで具体から考えられるようにする。

4 児童観

社会科の授業に対して、「かなり好き」、「まあまあ好き」と回答した児童は27人（75%）と好意的な印象をもっている児童が多い。これまでに、「国土の地形の特色」、「国土の気候の特色」の学習で平野と川や気候などの自然条件を白地図にまとめる活動を行ってきており、学習したことを白地図にまとめる活動に慣れている。児童の食料生産に関する知識は、校区内に水田があること、岐阜県では、北方町や海津市など米の生産を行っている市町村があること、学校の給食は、北方町で作られていることを理解している程度で、食料の産地や他の都道府県の食料生産の概要については理解が及んでいない。

5 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1	疑問をもつ。 ① 北方町の給食に使用されている原材料の産地を調べ、岐阜県で生産されたもの以外に、他の都道府県で生産されたものがあることに気付き、日本の食料生産について興味をもつ。
2	2～4	知識を獲得し、一人一人が課題に対しての考えをもつ。 ② 野菜・果物の生産が盛んな地域の分布を調べ、それぞれの地域の気候と関係していることに気付く。 ③ 畜産が盛んな地域の分布を調べ、火山の影響などで農業を行いきにくい土地であることと関係していることに気付く。 ④ 米の生産が盛んな地域の分布を調べ、米の生産と平野や川が関係していることに気付く。
3	5	学習したことをまとめる。 ⑤ 第2時か第4時で調べてきたことを一つの地図にまとめ日本の食料生産マップを作成する。

6 本時について (4/5)

(1) ねらい

米の生産が盛んな都道府県を白地図にまとめ、平野や川をまとめた地図と重ねて読み取る活動を通して、日本の米の生産は主に東北地方において盛んであることや、平地で川がある地域において多く生産されていることに気付き、表現することができる。

(2) 評価規準

日本の米の生産は主に東北地方で盛んであることや、平地で川がある地域において多く生産されていることに気付き、表現している。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	1 北方町の給食で使用されている米は、岐阜県産であることを伝え、岐阜県では、米作りを行っていることを印象付ける。 ・岐阜県の米だけで給食分の量を作っているのはすごいな。	【ICT活用の工夫】 <プロジェクター> ・岐阜県の給食で年間に使用される米の消費に一人で15000年かかることを、原始人→貴族→武士→現代人のイラストを順に提示し、時間の感覚がもてるようにする。
	2 岐阜県の米の生産量が、全国第25位である事実を伝え、岐阜県の米の生産量は上位ではないことを知る。 ・岐阜県よりも米の生産量が多い都道府県はどこだろう。	
展開	3 課題を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">どんなどころで米は多く生産されているのだろう。</div>	【ICT活用の工夫】 <ICT端末> ・協働学習支援ツールを活用して学習課題に対する予想を提出できるようにすることで、児童の意見が把握できるようにする。
	4 予想して、追究の見通しをもつ。 ・あたたかい都道府県でたくさん生産しているのではないか。	
	5 個人追究する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">提示資料：①日本の米の生産量を表した帯グラフ</div>	
	作成資料：②米の生産量が多い都道府県の地図 ・東北地方に、米の生産が盛んな都道府県が集まっているな。	
	6 東北地方で米作りが盛んである理由を考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">作成資料：③日本の平地、川の分布地図</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">作成資料：②米の生産量が多い都道府県の地図</div></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">作成資料：②と③を重ねた地図 ・広い平地や大きな川があるから東北地方では米作りが盛んだと思う。 ・米の生産には、水と平らな場所が必要だと思う。</div>	
終末	7 日本の米の生産についてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">日本の米は、東北地方で生産が盛んである。なぜなら、大きな川が流れていたり、広い平野が広がっていたりして、水田が作りやすい自然環境が整っているからだ。</div>	【ICT活用の工夫④】 <ICT端末> ・イラストアプリを使って、作成資料②と③を重ねることで、米の生産が盛んな地域の地形に着目させる。
	8 世界における米の生産が多い国の雨温図と新潟県の雨温図を比較して、次单元への見通しをもつ。 ・タイでは、一年中気温が高いけれど新潟県の気温は冬に低い。 ・年間降水量は、新潟県よりタイなどの方が多いな。 ・東北地方のように寒い地域が米の生産には向いているかと思っ ていたけれど、暖かい地域の方が生産しやすいのかな。	